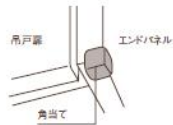


キッチン扉キャッチ機構

収納・使い方のコツ — ウォールユニットの使い方

≡ 角当て

角当ては吊戸用エンドパネルに付属しています。必要に応じてご使用ください。



⚠ 注意

- 1 清掃時などに、角当てがはがれないよう注意する。角当ては両面テープで接着します。万が一、角当てがはがれた場合は手配が必要です。お買い上げの販売店、またはLIXIL修理受付センター（→P.70）までご連絡ください。

≡ 扉キャッチ

扉キャッチは、地震が発生して扉キャッチ本体が揺れを感知すると、フックが下がった（出た）状態で固定され、キャビネット内部の収納物の落下や引出しの飛び出しを防止します。

- ・通常の使用（扉の開閉）においては扉キャッチは作動せずロックは掛かりません。
- ・ロックされた場合は、扉をいったん閉め、揺れがおさまってから開いて（引き出して）ください。揺れがおさまるとロックは解除されます。
- ・ロックが解除されない場合は、扉をキャビネット側に強く押しつけてください。扉とキャビネットの間にマイナスドライバーなどを差し込んで扉側のキャッチ受けを押し下げ、キャビネット側のフックを押し上げることで解除できます。



- ・レイアウトによってはマイナスドライバーなどを差し込めない場合がありますので、お買い上げの販売店、またはLIXIL修理受付センター（→P.70）までご連絡ください。
- ・扉の開閉は、力を入れず優しく行ってください。
- ・扉キャッチ機能は、建物の構造や階数によって、性能を十分に発揮しない場合があります。

⚠ 注意

- 取り外したり分解しない。取り外したりすると、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 扉の開閉時は、開閉方向以外の力を加えない。上下や左右の方向に力を加えて開閉すると、扉キャッチ機構が正常に作動しなくなったり、扉が閉まりきらなくなるおそれがあります。
- 1 ぬれたらすぐに拭き取る。扉キャッチ本体に汚れや水濡が付いた場合は、乾いた布で拭き取ってください。

扉キャッチ機構



揺れを感知すると、ストッパーが下りて扉をロック。収納物の落下や飛出しを防ぐ安心機能です。揺れが収まると自動的にロックを解除します。

- キャビネットの設置状態、収納物、振動の状況などにより、性能を十分に発揮しない場合がございます。
- オートダウンウォールには設置できません。

扉キャッチ機構

キッチン収納 | 扉キャッチ機構

